

平成28年度行政評価シート【個表】

平成 28 年 6 月 28 日

評価対象事業	評価者	市民健康課長
健福-36 救急医療対策事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課 市民健康課
	<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課
総合計画上の位置付け	分野	健康福祉
	施策の方針	市民の健康と安心づくりの推進

1 事業の目的

対象	市民等
意図	市民等の急病などに対応するため。
効果	休日・夜間の急病への迅速な対応

2 平成27年度に実施した事業の概要

休日、夜間に地域医療センターで小児科を含む内科系の疾患に対し急患診療を行った。また、ゴールデンウィーク及び年末年始には小児科医を招へし、2科体制での診療を行った。 緊急の入院や手術が必要な患者に対し、医療体制整備を委託し、休日、夜間、土曜に内科・外科の診療を行った。 市民からの医療機関の問い合わせに対し、医療機関案内を行った。毎夜間(23時～翌朝9時)、土曜日(12時～18時)については、音声自動応答により救急医療機関の案内を行った。 休日昼間に歯科の疾患に対し歯科急患診療を行った。 鎌倉市内の救急医療機関において、医療費の負担能力に欠ける外国籍市民が救急医療を受けた場合に生じる損失医療費は発生しなかったため、補助金は交付しなかった。
---

3 事業費等基礎データ

データ区分	26年度決算		27年度決算		データ区分	28年度当初予算		備考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数		人 口	世 帯 数	
人口等のデータ	177,464人	80,368世帯	177,243人	80,676世帯	176,869人	80,928世帯		・各年3月31日 (住民基本台帳)
事業の対象者数								
事業の対称者数								
運営資源状況	決算値(千円)	145,898	153,055	当初予算(千円)	150,888			
	国県支出金	4,987	5,070	国県支出金	5,030			
	地方債	0	0	地方債	0			
	その他	0	0	その他	0			
	一般財源	140,911	147,985	一般財源	145,858			
	人員配置数	0.9	0.9	人員配置数	0.8			
事業経費運営	人件費(千円)	6,815	7,257	人件費(千円)	6,303			
	総事業費(千円)	152,713	160,312	総事業費(千円)	157,191			
	市民1人当りの経費(円)	861	904	市民1人当りの経費(円)	889			
	対象者1人当りの経費(円)			対象者1人当りの経費(円)				

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	2. 廃止・休止による影響は小さいがある
	今後も市が実施すべき事業か	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有 効 性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	○.負担導入済 ○-2. 適正な受益者負担を導入している
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	△.協働未実施 協働実施済の場合のパートナー

事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す	⇒	見直しの種類	<input type="checkbox"/> 拡大	見直しの内容	事業へ統合
	<input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする			<input type="checkbox"/> 縮小		
	<input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する			<input type="checkbox"/> その他		
	<input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する	⇒				

予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	市民の健康と安心づくりの推進に貢献する事業であることから、引き続き現行事業を維持していく必要があるため。
	<input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする		
	<input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する		

総評(評価に対する考え方、根拠等)	休日夜間急患診療所及び休日急患歯科診療所は、その性質上民間などが参入する可能性も低く、市民のニーズも高いことから、今後も体制を整えていく必要がある。
-------------------	--

平成27年度事業実施にあたっての課題(前年度未解決の事項を含む)	(休日夜間)小児科医が高齢化により減少しており、休日夜間急患診療所における小児科医、小児科を標榜する医師の確保が必要である。 (休日急患歯科)休日急患歯科診療所の移転に伴い、障がい者歯科診療や要介護者等歯科診療など、施設面での課題があり、実施が難しい。歯科医師会と協議・調整が必要である。	
課題解決のために行った平成27年度の取組	(休日夜間)平成26年度と同様に、ゴールデンウィーク及び年末年始において二科体制を実施するため、大学病院から小児科医を招へいし、診療業務を行った。また、通年でも小児患者が増加傾向にあるため、鎌倉市医師会の小児科医又は小児科を標榜する医師では対応が難しい状況にあるため、ゴールデンウィーク及び年末年始以外でも大学病院の協力を得ながら、小児患者の診療に対応した。 (休日急患歯科)障がい者歯科診療や要介護者等歯科診療のあり方等について、歯科医師会と協議を行った。	<input type="checkbox"/> 解決 <input type="checkbox"/> 一部解決 <input checked="" type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	(休日夜間)ゴールデンウィーク及び年末年始以外の診療時間帯にも小児科及び小児科を標榜する医師を配置し、小児患者への対応を充実される必要がある。 (休日急患歯科)障がい者歯科診療や要介護者等歯科診療など実施できるよう、解決策について歯科医師会と引き続き協議・調整を行っていく。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									

比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									

比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方									
----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	単位	指標の傾向							備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31		
	目標値								
	実績値								
	達成率								

指標の内容	単位	指標の傾向							備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31		
	目標値								
	実績値								
	達成率								

指標の内容	単位	指標の傾向							備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31		
	目標値								
	実績値								
	達成率								

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方									
-----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

● 事業に関する特記事項

■ 第3期基本計画前期実施計画重点事業	■ 19節で予算措置している補助金が含まれる事業
---------------------	--------------------------